

令和2年度



地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

# 報告書



—「いわみん ～さんべでミルクざんまい!～」より—

**三瓶地域協育ネットワーク**

# 1. 事業の趣旨

魅力ある地域資源を生かした体験活動を推進するため、島根県の三瓶山周辺では、行政はもとより、民間活動団体が様々な事業を展開している。

これらの事業が、より地域に普及・定着するためには、体験活動が子供の成長にとっていかに重要であるかを、事業を主催する側はもとより、広く一般の方々に理解してもらうことが必要である。

本事業において、連携団体が体験活動事業を実施する「地域は体験の宝庫!」、他地域へ出向き、体験ブースを設置して体験活動の普及・啓発を行う「体験の風をおこそう 子どもの体験ひろば」、石見神楽の上演など、三瓶山周辺地域がより多くの方に親しまれ、愛されるように、地域密着型のイベント「さんべ祭」等の実施を計画する。また、地域体験活動情報誌「いわみん」を活用することにより、三瓶山登山や牧場体験、キャンプ等ができる事業を展開すると共に、「さんべまるごと体験マップ」の広告を掲載することで、県内外に「体験活動周知活動」を推進している。

三瓶山周辺の各団体や事業所・行政機関等が連携して活動することにより、体験活動に関するお互いの考えや活動の様子を知る機会が創出され、地域全体で体験活動を推進していくネットワークを充実させたいという機運が高まっている。今後も、諸団体との連携を深めていくことはもちろん、新たに連携先を拡げていくことで、本事業を展開しながら体験活動の普及に努めていく。

さらに、これらの活動を他のエリアにおいても普及することを目的に、引き続き「子どもの体験ひろば」を県内外で実施するとともに、三瓶地域の活動及び成果を広く広報し、「体験の風をおこそう」運動を推進していく。

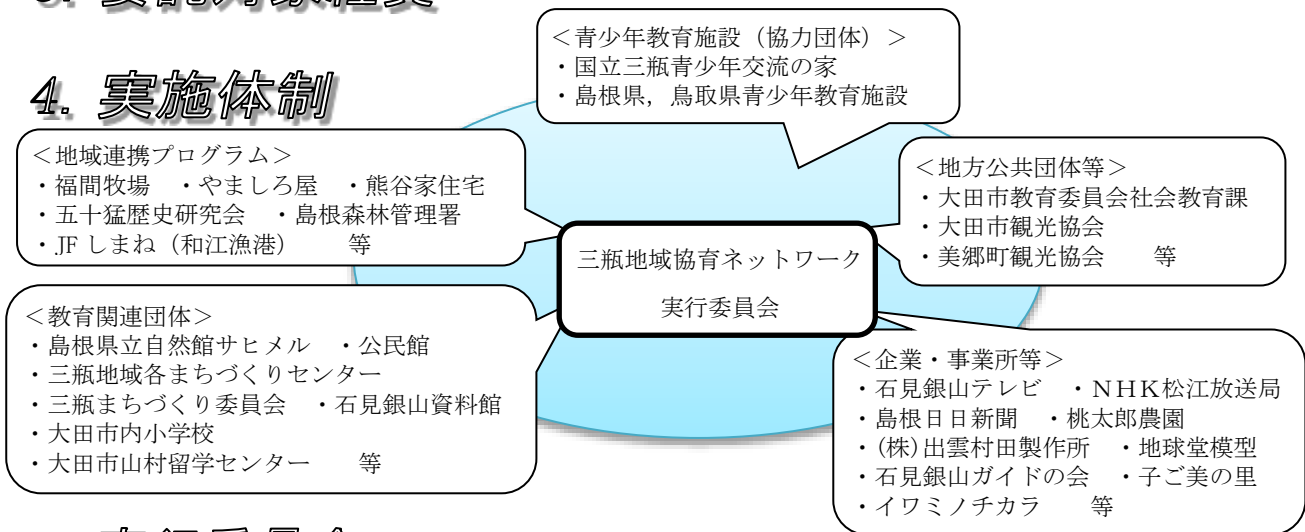
# 2. 委託期間

令和2年5月29日～令和3年2月15日

# 3. 委託対象経費

1,483,936円

# 4. 実施体制



# 5. 実行委員会

○実行委員長 野津 孝明	国立三瓶青少年交流の家所長
○実行委員 (順不同)	
後藤 裕之	大田市教育委員会社会教育課 課長
中村 和也	一般社団法人 大田市観光協会 事務局長
山根 都	美郷町観光協会 事務局員
大谷 康雄	三瓶まちづくり委員会 会長
福間 聖治	福間牧場 代表
矢田 千里	子ご美の里 代表
林 能伸	五十猛歴史研究会 事務局長
伊藤 康丈	一般社団法人 伊ワミノチカラ 代表
西嶋 一泰	大田市山村留学センター 職員

## 6. 会則

### 三瓶地域協育ネットワーク 会則

(名称)

第1条 この会は、「三瓶地域協育ネットワーク」という。

(事務局)

第2条 この会の事務局は、島根県大田市山口町山口 1638-12 におく。

(目的及び事業)

第3条 青少年の健全育成を目的とし、三瓶周辺の魅力ある地域資源を生かした体験プログラムを企画・運営し、地域全体で体験活動の場と機会を拡充する。また、島根県内外の関係機関・団体等が連携し、体験活動に関わる指導や企画・運営、ボランティアに関わる者の資質や能力の向上を図る取組も併せて実施する。活動を通じて多くの人々との交流を深め、地域のつながり・絆を強化し、地域活性化に資することを目的とする。

(構成員)

第4条 青少年教育施設や地方公共団体等を中心として、学校、青少年団体、企業、民間教育機関・団体等、NPO 法人等の関係者により構成する。

(会議)

第5条 この会の議決を行う機関として、実行委員会をおく。

2 実行委員会は、年3回程度開催し、次の事項を議決する。

(1) 年度事業計画

(2) 年度事業報告及び決算の承認

(役員)

第6条 この会に次の役員をおく。

(1) 実行委員長 (1名) 実行委員長は本会を統括し代表する。

(2) 監事(1名) 監事は本会の会計を監査する。

2 役員は実行委員会において互選する。

(事業及び会計年度)

第7条 この会の事業年度は、毎年、5月1日から翌年の3月31日とする。

(付則)

この会則は、平成27年6月1日から施行する。

## 7. 令和2年度の事業内容

### 体験活動を推進していくための継続的な取組

#### 1. 第1回 実行委員会開催 令和2年6月18日(木)

##### ○報告

- ・令和元(平成31)年度事業報告について
- ・令和元年(平成31)度会計報告について
- ・令和2年度事業計画及び経費内訳について

##### ○協議事項

- ・令和2年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動事業計画について
- ・「さんべ祭」の開催について
- ・「いわみん」について
- ・意見交換

#### 2. 第2回 実行委員会予定 令和3年3月4日(木)

##### ○協議事項

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度会計報告について
- ・令和3年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動事業計画について

#### 3. 通年

- 「体験の風をおこそう」運動の推進・啓発
- 地域の体験事業の展開
- 三瓶地域の活動及び成果の広報

### 地域全体で体験活動の機会を拡充する取組

ページ

#### 4. 「地域は体験の宝庫！」

##### ①「かかし祭り」(主管：子ご美の里) ※中止

○かかしをかざって稲の収穫を祝う。

##### ②「ふうりんおんせん」(主管：志学まちづくり)

※風鈴の絵付けセットを置き、温泉街を訪れた人に絵付けをしてもらった。

○志学のまち(三瓶温泉)を訪れる方に、風鈴の絵付け体験をしてもらい、飾る。

##### ③「シャワークライミング2020」(主管：沢谷河童レンジャー)

○沢登り体験を通して、沢谷川の自然の魅力を知ってもらう。

5

##### ④月イチガク(主管：島根県立三瓶自然館サヒメル)

○月に一度の大田市の地域学を開催する。

6

##### ⑤「五十猛の歴史(グロ編)」(主管：五十猛歴史研究会) ※中止

○歴史と神話の里、五十猛。そこに古くから伝わる伝統行事「グロ」を子どもたちに語り、伝えていく。

##### ⑥「さんべ志学の雪あかり」(主管：志学まちづくりセンター)

○三瓶温泉で行われる冬のイベント。ちいさなかまくらにキャンドルを灯す。

7

##### ⑦「さんべそば祭り」(主管：さんべそば推進会議) ※中止

- そば作り体験等を通して、香り高い三瓶在来の新そばの魅力を知ってもらう。 ページ
- ⑧「かまどでごはんたき」(主管:合同会社 家の女たち) ※「いわみん」で実施
- ナタを使ってまき割り、そのまきを使って、かまどで火を焚き、ごはんのみそ汁を作る。豪商熊谷家住宅のかまどを使ってのごはん炊き体験
- ⑨「親子自然たんけん隊」(主管:中央・東部・温泉津公民館) 8
- 親子で冬の三瓶に行き、歩くスキー体験をする。
- ⑩島根県「歩くスキー」フェスティバル(主管:島根県スキー連盟)
- ※新型コロナウイルス感染予防対策のため、宿泊をやめ、日帰りでの競技会を実施
- 歩くスキー体験をする。

5. 「体験の風をおこそう 子どもの体験ひろば」体験ブース(主管:国立三瓶青少年交流の家)

※年間で出展を計画していたが全て中止

- ①出雲ドーム de 健康フェスティバル 2020(出雲市)
- ②出雲村田製作所イワミ工場グリーンフェスティバル(大田市)
- ③島根県立少年自然の家オープンデー(江津市)
- ④サンレイク フェスタ(出雲市)
- ⑤ポピー祭り(飯南町志津見)
- ⑥「GOGO 三瓶 山の日フェス」(西の原)
- ⑦大田市秋の彼岸市(大田市)
- ⑧イオンモール体験ブース(松江市・出雲市)
- ⑨みすみフェスティバル(三隅町)
- ⑩しまねふるさとフェア(広島市)
- ⑪おおだ自然エネルギーパーク 2020(大田市)
- ⑫春の彼岸市(大田市)
- ⑬あすてらすフェスティバル 2020(大田市)

**体験活動を推進する機運を高める取組**

6. 地域体験交流イベント情報誌「いわみん」との連携について

- 令和2年度「いわみの国をみんなで遊ぶ いわみん ガイドブック vol.13」発刊に向けて
- いわみん掲載プログラムについて 9
- ①「親子で挑戦! はじめのキャンプ!」 1 1
- ②「はじめての縦走! In 三瓶山」 1 3
- ③「さんべでミルクざんまい!」 1 5
- ④「誰でも安心 はじめてのボルダリング体験!」(主管:さんベクライマーズクラブ) 1 7
- ⑤「かまどでごはん炊き」(主管:合同会社 家の女たち) 1 8

7. 地域連携プログラムについて 1 9

8. 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 2 1

「金曜からおとまり☆さんべたいけん in ふゆ」

9. 三瓶の魅力を体験する「今年はさんべの応援にきてくだ祭」 2 3

※「さんべ祭」中止に伴う代替事業として、体験活動の機会を確保するために実施

1 事業名 地域は体験の宝庫！③「沢谷川の沢登り～シャワークライミング 2020～」

2 主 管 沢谷河童レンジャー

3 開催日時

- ①【沢谷河童探検隊】 令和2年7月26日(日) 中止
- ②【沢谷河童探検隊】 令和2年8月 1日(土) 9:00～13:30
- ③【沢谷河童探検隊】 令和2年8月 8日(土) 中止
- ④【沢谷河童探検隊】 令和2年8月 9日(日) 9:00～13:30

4 開催場所 沢谷交流センター

5 参加者数 ①中止 ②大人7名 子供7名 ③中止 ④大人15名 子供10名

6 内容・日程

	9:00	9:30	10:10	10:30	12:00 13:00 13:30			
	8/1(土) 8/9(日)	受付	開会行事	オリエンテーション	移動(バス)	沢登り	昼食	閉会行事

7 事業の特色

地域に残る沢谷川の自然の魅力を、沢登り体験を通して知ってもらおう。真夏の暑さを冷たい里の水が癒してくれる事業。

沢を登りながら、冷たい水を肌で感じ、急流を滑り、川に飛び込み、生き物と触れ合うことで、大人たちは童心に帰り、子どもたちは自然で遊ぶ楽しさを実感することができる。

8 成果と課題

<成 果>

- ・「沢登り」という、普段できない体験を提供することができる。活動中は、困難を乗り越えることで家族間、グループ間、さらには参加者全員の一体感が生まれ、それを自然の中で感じる事ができた。

<課 題>

- ・参加者間の交流を活発化させる工夫をしていきたい。同じ事業に参加した仲間として子供間の交流の機会を増やし、コミュニケーションを活発化させることを狙いたい。



- 1 事業名 **地域は体験の宝庫！④「月イチガク」**
- 2 主管 島根県立三瓶自然館サヒメル
- 3 日時 ①令和2年 6月13日(土)「消えた湖 波根湖」  
 ②令和2年 7月11日(土)「巨木・巨石と古代の自然観」  
 ③令和2年 8月 8日(土)「大田市の原始・古代」  
 ④令和2年 9月12日(土)「温泉津町を歩く」 ※雨天中止  
 ⑤令和2年10月17日(土)「島根の縄文時代①自然の風景」  
 ⑥令和2年11月28日(土)「吉永陣屋と銅山」  
 ⑦令和2年12月12日(土)「島根の縄文時代②人々の暮らし」
- 4 開催場所 ①、②、③、⑤、⑦三瓶小豆原埋没林公園  
 ④大田市温泉津町周辺<距離 約8km> ※雨天中止  
 ⑥大田市川合町周辺 <距離 約6km>
- 5 参加者数 ①子ども0人 大人14名 ②子ども0人 大人21名  
 ③子ども0人 大人9名 ④雨天中止  
 ⑤子ども0人 大人9名 ⑥子ども0人 大人17名  
 ⑦子ども0人 大人16名
- 6 内容 ①、②、③、⑤、⑦地域の歴史や成り立ちをテーマに、講師の話を聞き、参加者同士が意見交換して深めていく学習イベント  
 ④、⑥地域の歴史を見ながらまちを歩く体験型イベント
- 7 事業の特色 島根県立三瓶自然館の中村唯史学芸員が案内人を務め、意見交換やまち歩きを通して参加者とともに学びを深める。
- 8 <成果> ・講師を招き、詳しい話を聞くことで地域の歴史や自然について、より深く学ぶことができた。まち歩きの回では、主催者だけでなく、その地域で生まれ育った方が案内役となって、地域の歴史や魅力について生き活きと語っており、自分の学んできたことの成果発表の場になっている。
- <課題> ・4月、5月にも計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった。また座学の回では、3密を避けるため、多くの方に参加していただくことは難しかった。



講師を招き、テーマに沿って意見交換しながら学びを深めました。



中村唯史学芸員から、大田の魅力聞きながら、史跡を歩きました。

- 1 事業名 地域は体験の宝庫！⑥「さんべ志学の雪あかり」
- 2 主 管 志学まちづくりセンター
- 3 開催日時 令和3年2月13日(土)
- 4 開催場所 三瓶山東の原（石見ワイナリー・観光リフト周辺）
- 5 参加者数 600名
- 6 内 容 三瓶町志学で行われる冬のイベント。三瓶山のすそ野を会場に、小さなかまくらにキャンドルを灯す雪あかりで、会場を心温まる優しい光で覆い尽くす。
- 7 事業の特色 参加者が、雪あかりの会場の見学を楽しみながら、仲間や家族と共に雪像を作る「雪あかりづくりコンテスト」や、手持ち花火による「ミニ打ち上げ花火大会」などを実際に体験する、参加型イベントとなっている。
- また、今年は初めて、Instagram から応募ができる「雪あかりフォトコンテスト」と「live 配信」を行った。

8 成果と課題

- <成 果>
- ・Instagram の活用により、まだ「雪あかり」のイベントを知らない人や、雪道での運転が怖くて参加した事がない人にも知ってもらえる、今後、参加に繋がるきっかけ作りができた。
  - ・「コロナに負けずまちづくりの元気の火を灯し続ける。」をテーマにすることで、地域の若者や、ボランティアによって、10年以上続けてきた地域のイベントを盛り上げ、地域活性化に繋げることができた。
- <課 題>
- ・雪不足が心配される中、会場に積雪が無い場合に、雪の確保やイベントの内容を検討する必要がある。
  - ・今年は、新型コロナウイルス感染予防として、例年出店している地元の屋台を止めることになった。参加者がイベントをより一層楽しめるように、屋台の出店、食事がとれる場所や休憩場所などにおいて、感染予防の対策が今後必要となる。



バケツに雪を詰めて、LED キャンドルを置く小さなかまくら。



コンテストを行う雪像。  
「雪あかりづくりコンテスト」



本部前、会場入口にはコロナ対策として、検温・名簿記入を行った。



- 1 事業名 地域は体験の宝庫！⑨「親子自然たんけん隊」
- 2 主 管 大田市立中央公民館・大田市立東部公民館・大田市立温泉津公民館
- 3 開催日時 令和3年1月30日（土）～1月31日（日）
- 4 開催場所 国立三瓶青少年交流の家
- 5 参加者数 宿泊利用者：子ども27人 大人26名
- 6 内 容 大田市内3公民館の周辺地域に住む家族を集めた冬の自然体験活動イベント。国立三瓶青少年交流の家に泊まり、そこでできる歩くスキーを中心に冬ならではの体験を実施する。
- 7 事業の特色 大田市内3公民館の公民館主事・館長が協力して、企画・運営を実施する。国立三瓶青少年交流の家で冬しかできない魅力あるプログラムを体験する。
- 8 成果と課題
- <成 果>
- ・大田市内の3公民館が広く広報することで、コロナ禍にありながらも当初予定していた人数より大幅に多い参加者を集めることができた。
  - ・歩くスキー体験だけでなく、島根県立三瓶自然館サヒメルの中村唯史学芸員から「冬の自然」の講義をいただいたので、親子で自然環境を考えることもできた。
- <課 題>
- ・雪不足が心配される中、雪が無い場合のプログラムを検討する必要がある。



歩くスキーの基礎講座



冬の自然について中村唯史学芸員からお話をいただき、親子で学習



歩くスキーの練習



歩くスキー 出発！



歩くスキー 指導者といっしょに ハイ・チーズ♪ 来年も一緒に体験活動ができますように☆

## 地域体験交流イベント情報誌「いわみん」との連携について

令和2年度「いわみの国をみんなで遊ぶ いわみん ガイドブック vol.13」発刊に向けて

「いわみん実行委員会事務局(一般社団法人イワミノチカラ)」(以下、「いわみん事務局」という)と連携し、地域体験活動情報誌「いわみの国をみんなで遊ぶ いわみん ガイドブック vol.13」(以下、「いわみん」という)を発刊した。「いわみん」は、石見地域を知り、楽しさや、暮らし心地を実感してもらうための体験プログラムを集めたものである。また、地域とのつながりを活かした幅広い広報活動を展開し、様々な地域からプログラム実施者・参加者を募っている。今年度は、三瓶地域協育ネットワークから、5つの体験プログラムの提供と2つの広告を掲載するとともに、運営面での補助をしながら、「体験の風をおこそう」運動の啓発を行った。新型コロナウイルスの影響で、期間を短縮し、ガイドラインを制定した上での開催となった。

### 1 「いわみん」の発刊及び参加状況について

○開催期間 令和2年10月30日(金)～11月29日(日)

○予約開始日 令和2年10月6日(火)

○開催エリア 大田市/江津市/浜田市/益田市/美郷町/川本町/邑南町/津和野町/オンライン

○プログラム数 44プログラム(プログラム回数:234回)

○広報 ガイドブック 15,000部 ポスター 200部

チラシ(親子体験紹介) 17,000部(幼稚園や小学校に配布)

いわみん公式ページ <http://iwamin..jp/>

いわみんフェイスブックページ <https://www.facebook.com/iwamin.onpaku/>

インスタグラム <https://instagram.com/iwamin.onpaku?igshid=14na2h6a1lz7n>

○広報場所 島根県内の幼稚園、保育園、小学校、島根県並びに広島県内の道の駅、ショップ  
青少年教育施設、図書館、市長村役場 等

○参加者数 718人

### 2 「いわみん」提供プログラムについて ※以降、報告掲載

三瓶地域協育ネットワークから3つの宿泊体験プログラム、連携団体による2つの体験プログラムを掲載した。

○「親子で挑戦!はじめてのキャンプ!」 ○「はじめての縦走!in三瓶山」

○「誰でも安心 はじめてのボルダリング体験!」 ○「さんべでミルクさんまい!」

○「かまどでごはん炊き」

「親子で挑戦!はじめてのキャンプ!」「さんべでミルクさんまい!」は、予約開始直後で、キャンセル待ちの状態となった。「はじめての縦走!in三瓶山」とともに人気で、屋外での体験活動のニーズが高まっていると予想される。「誰でも安心 はじめてのボルダリング体験!」は、参加者に、気軽にボルダリングを体験できる施設があることを知ってもらう機会となった。「かまどでごはん炊き」に参加した3家族は、石見銀山の魅力とともに、昔の暮らしを体験できる良さを感じることができた。どのプログラムも参加者の満足度が高く、秋の石見地域の体験活動を満喫していた。

ガイドブック表

### 3 「いわみん」掲載広告について

「いわみん」裏表紙と見開きページに広告を掲載した。裏表紙には、地域の体験活動事業「地域は体験の宝庫!」を紹介している。三瓶地域協育ネットワ



ークでは、地域の自然、伝統や文化を守り、多くの人に知ってもらい、楽しんでもらえるように様々なイベントを開催している。参加者として、または、自らが運営者として、地域の活動に関わってもらえることを願い掲載した。また、見開きページには、三瓶地域協育ネットワークの組織を知ってもらうとともに、三瓶周辺地域に興味をもち、多くの人が訪れるきっかけになることを願い、「さんべまるごと体験マップ」を掲載した。



ガイドブック裏表紙「地域は体験の宝庫」



ガイドブック見開きページ「さんべまるごとマップ」

#### 4 「いわみん」アンケート結果について

○全体の満足度 平均点 97.8点

○良かった点

- ・最近なかなか出かけて何かに参加しづらい中で、とっってもリフレッシュになりました。
- ・コロナの中、いろんな工夫をして開催していただきありがとうございます。次回も楽しみにしています。
- ・貴重な体験ができ、すごく楽しかったです。“作られた自然体験”ではなく、本当に暮らしに根差した体験ができるのは、島根ならではの感じがします。
- ・最高の時間でした。とてもゆったりしたのと、体が元気になってきたようで素晴らしい時間をありがとうございます。
- ・いわみんの企画はとても楽しく色々な体験ができるので大好きです。
- ・家族で楽しめたのが良かった。
- ・こういったイベントを開催していただいて、色々な体験が出来る場を設けていただいたことに感謝します。 等

○改善点・要望

- ・あっという間に定員に達してしまっただので、回数を増やしてくださるとありがたいです。
- ・幼児と参加できるプログラムが沢山あるとありがたいです。
- ・体験型のプログラムで個人ではなかなかできないことをしたい。お仕事や汗を流せること、林業とか。
- ・島根県の豊かな自然を活かした子供との体験をしたいです。
- ・縦走プラスキャンプの組合せも企画してほしいです。サイクリングコースを走ってみたいです。
- ・そこでしか体験できないこと、田舎ならではの楽しいことを企画してほしい。
- ・日常の癒しや普段体験できないようなプログラムをしたいです。
- ・地元の野菜でクッキング、石見神楽で使うグッズ・衣装の展示解説・作成などを希望します。 等

## 令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### 「いわみん2020秋」掲載プログラム

#### 「親子で挑戦！はじめてのキャンプ！」

#### 1 趣 旨

- ・秋の三瓶の自然に触れながら、アウトドアクッキング等の体験を通して、三瓶地域の自然や体験活動に興味、関心を持ってもらう。
- ・親子で一緒に活動することにより、親子で活動する楽しさを知ってもらう。
- ・地域の資源を活かしたプログラムを提供することで、三瓶地域の魅力に気づく。

#### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年10月31日(土)～11月1日(日) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家とその周辺
- (3) 対 象 小学生とその家族
- (4) 参加者 25名(8家族)
- (5) 日程・研修内容

	12:45	13:00	14:00	16:00	18:30	20:00	21:00	22:00
10/31 (土)	受 付	は じ ま り の 会	<b>【おうちを作ろう！】</b> 家族で協力してテントを建てます。	<b>【晩御飯を食べよう！】</b> 炊飯 BBQ を楽しみます。	入 浴	<b>【夜空を楽しもう！】</b> 星空観察をします。	就 寝 準 備	就 寝

	6:30	7:00	9:00	14:00
11/1 (日)	起 床	<b>【朝ごはんを食べよう】</b> <b>【おうちを片づけよう】</b> カートドックを作り、テントを片づけます。	<b>【三瓶山の秋を楽しもう！】</b> 家族ごとに選択して活動します。 ①男三瓶山に！(～高学年以上向け) ②女三瓶山・太平山に登ろう！(～低学年向け) ※昼食はおにぎり弁当	下 山 後 解 散

#### 3 事業の特色

##### (1) 事業の特色

テント建てや野外炊飯、星空観察、登山等の体験を通して、初めてキャンプをする家族を対象にキャンプのノウハウを習得する事業を実施した。

##### (2) 運営のポイント

家族でキャンプをするときの参考になるよう、テントについては、実際に泊まるテントだけでなく、いろいろなテントを建てて、それぞれの利点や特徴を説明した。また、野外炊飯においても同様に、火のおこし方や道具の使い方だけでなく、料理別にいろいろな道具があることを紹介した。

新型コロナウイルス感染症の防止に配慮し、すべての活動が家族単位で行動できるようにした。家族で協力してテント建てや炊飯を行うことで、家族の絆を深めることをめざした。

##### (3) 広報のポイント

「いわみん」に事業情報を掲載し、いわみんのホームページや島根県西部を中心に配られる冊子で広報を行った。

#### 4 参加者へのアンケート結果

##### (1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

##### (2) 参加者の声

- ・キャンプが初めてで、設営やいろいろなことについて勉強になりました。夜風が強かったのもよい経験でした。登山も子供に初めて経験させることができよかったです。
- ・子供たちが普段できない、いろいろな体験ができてよかったです。
- ・キャンプも子供と一緒に本格的な登山も初めてだったので、貴重な体験をさせていただきました。

#### 5 成果と課題

##### 《成果》

- ・アンケートから、家族の絆を深め、キャンプや野外活動への興味や意欲を高めることができたと思う。
- ・キャンプで行う様々なプログラムや、周辺の自然等の魅力を活かした事業を展開することができた。

##### 《課題》

- ・テント数から、どうしても募集人数に制限がかかる。今回の募集では、いわみんのホームページから先着順の受付のため、募集開始から10分弱で募集定員に達した。その後も多数の問い合わせがあったが、お断りすることになり、キャンプへの需要は、高いと感じた。来年度は、回数を増やせないか検討していきたい。
- ・11月になると寒くなり、小学校低学年にはテント泊等の野外活動が厳しくなる。もう少し早い時期の開催を考えたい。



## 令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### 「いわみん2020秋」掲載プログラム

#### はじめての縦走！ in 三瓶山

#### 1 趣 旨

- ・主に登山初心者を対象として、多様な登山コースと変化に富んだ展望が魅力である日本二百名山・三瓶山の縦走体験を提供することで、三瓶山の魅力、登山の楽しさを発信する。
- ・多くのファンを持つ深田久弥氏の著書「日本百名山」の世界と三瓶山登山を連動させたプログラム構成とすることで、多様で奥深い登山の魅力を紹介する。

#### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年10月31日(土)～11月1日(日) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家・三瓶山
- (3) 対 象 18歳以上
- (4) 参加者 15名 ※定員15名
- (5) 日程

##### 1日目

18:30	18:45	21:00	22:30
開会行事	日本百名山への招待状～日本中の山の魅力をご紹介します～	入浴 休憩 検温	就寝

##### 2日目

6:30	7:30	8:30	13:30	13:40
起床 検温 身支度	朝食 登山準備	三瓶山登山～はじめての縦走体験～	閉会行事 解散	

#### 3 事業の特色

- (1) 日本百名山への招待状～日本中の山の魅力をご紹介します～
- ・実際に「日本百名山」を踏破した担当者が選んだおおすすめの山を、登山中の写真と、深田氏の「日本百名山」での描写と共に紹介した。
  - ・「日本百名山への招待状」と題した資料を作成し、参加者に配布した。資料には百座全ての写真、担当者による紹介文、深田氏の「日本百名山」での描写を掲載することで、事業終了後も、参加者が資料を通じて継続的に登山に親しむ契機となることを意図した。
  - ・紹介する「日本百名山」については、参加者からのリクエストに担当者が応える形式とすることで、参加者がより主体的に事業に参加できるようにした。
- (2) 三瓶山登山～はじめての縦走体験～
- ・登山コースは、「名号登山口⇒女三瓶山⇒大平山⇒孫三瓶山⇒風越⇒夫婦松登山口」とした。参加者の年齢層、登山経験等を考慮した上で、体力・難易度に余裕があるコースを設定し、三瓶山の特徴である変化に富む展望を参加者が時間をかけて楽しめるようにした。

#### 4 参加者へのアンケート結果

##### ①年齢層

10代（1名）、40代（2名）、50代（4名）、60代（6名）、70代（2名）

##### ②住所

島根県：浜田市（9名）、江津市（4名）、大田市（1名） 広島県：広島市（1名）

##### ③全体の満足度（100点満点で採点）

平均97点 内訳：100点（9名）、99点（2名）、90点（2名）、80点（1名）、未記入（1名）

##### ④いわみんプログラム参加経験者

15名中10名（浜田市6名、江津市2名、大田市1名、広島市1名）

##### ⑤参加動機

特定プログラムに興味があった（8名）、体験活動や交流活動に興味があった（4名）、  
さそわれて何となく（2名）、三瓶山に登ってみたいかった（1名）

##### ⑥参加形態

家族：4家族8名 友人同士：1組2名、個人：5名

##### ⑦アンケート結果分析

- ・参加者15名中、14名は「いわみんガイドブック」の主な配布地域である島根県西部地域からの参加者であった。また、「いわみん」のプログラム参加経験者が参加者数の2/3を占めた。
- ・参加者15名中、14名は40歳以上であった。60歳代が6名と最大を占めた。
- ・アンケート結果や、事業中の参加者からの聞き取りから読み取れる参加者層は、「登山に興味がある（だけど1人で行くのは不安な）初心者」、「三瓶山や、三瓶地域全体に興味を持っている人」、「体験活動全般に興味を持っており、『いわみん』等を通じて、情報収集し、実際に活動に参加している人（アクティブなシニア層）」等が挙げられる。

#### 5 成果と課題

##### 《成果》

- ・参加者が募集定員に達しなかった昨年度の反省を踏まえ、「はじめての縦走」というテーマを設定し、「いわみん」への掲載原稿も含めて、登山初心者も参加しやすいようにした。また、新型コロナウイルス感染予防の観点から定員自体も昨年度の半分（30名⇒15名）に削減した結果、募集開始から間もなく参加者が定員に達した。

##### 《課題》

- ・15名に定員を削減したが、1日目の「日本百名山へ招待状」では、参加者の発言機会に偏りが生じる等の課題も生じた。また、当該事業の内容は事業担当者の登山経験に負うところも大きく、次年度以降も同様に継続できる保証はない。三瓶山登山プログラムの魅力発信に向けて、今後も「持続可能な登山事業」の実施形態について検討が必要である。



## 令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### 「いわみん2020」掲載プログラム

#### 「さんべでミルクさんまい！」

#### 1 趣 旨

- ・地域資源を活かした体験活動の場を提供し、三瓶地域の魅力に気づく。
- ・「生産→消費」のストーリーを取り入れ、「本物」の体験を提供し、より充実した体験活動の促進を図る。
- ・交流の家周辺で活動することで家族の絆を深めることや、時間を守るなどの基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。

#### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年11月14日(土)～11月15日(日) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 協 力 福間牧場
- (4) 対 象 小学生とその家族
- (5) 参加者 5家族15名 定員15名
- (6) 日程

##### 1日目

13:00	14:00	17:00	18:00	20:30	22:30
はじめの会	<b>【牧場体験】福間牧場へ！</b> いつも飲んでる牛乳はどうやって作られているのだろう？ 酪農家・福間さんに教えてもらおう！	休憩 夕食	<b>選択活動</b> ・夜の牧場体験 ・天体観測 ・自由活動	入浴 休憩 就寝	

##### 2日目

6:30	7:00	7:30	8:45	9:00	13:30	14:00
起床	清掃	朝食	退所点検	<b>【野外炊飯】三瓶でとれた牛乳で、シチューとパンをつくろう！</b> ダッチオーブンを使って、おいしいシチューとパンを作り、家族みんなで食べよう♪	閉会行事 解散	

#### 3 事業の特色

##### (1) 事業の特色

本事業において、三瓶の地域資源を活かした「牧場体験」実施後、実際に牧場で採れた牛乳を材料に用いたアウトドアクッキングを行うことで「生産→消費」のストーリー性を取り入れた。また、その流れを参加者にも把握してもらうため、各活動の導入ではこれまでの活動の振り返りを行った。

##### (2) 運営のポイント

###### ①牧場体験（生産～加工）

活動前に、体験活動での参加者の積極性を引き出すため、当日の牛舎の様子にまつわるクイズを出題した。牧場では餌やりや牧場主との対話を通して、生産の現場を体験した。見学後の牧場主の講義では、牛についてだけでなく、自身の牛乳が「三瓶高原牛乳」としてブランド化されたことに対する誇り等、加工への想いも含めた内容を話してもらい、生産者の想いに触れる時間を設けた。



## ②アウトドアクッキング（消費）

1日目の体験を踏まえて、より牛乳のおいしさを感じてもらうため、シチューの水分の多くを牛乳で代用するレシピで調理した。アウトドアクッキングでは準備から後片付けまでをすべて行うことで、協働の場を設けた。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) 年齢層

10代未満（5名） 10代（2名） 30代（2名） 40代（6名） 50代（1名）

### (2) 住所

島根県：浜田市（3家族） 鳥取県：米子市（1家族） 広島県：広島市（1家族）

### (3) 全体の満足度（100点満点で採点）

100点（5家族）

### (4) 「いわみん」のプログラムの参加経験者

5家族全て参加経験あり

### (5) 参加形態

家族：5家族 15名

### (6) アンケート結果分析

参加動機は「特定のプログラムに興味があったから」が半分以上をしめた。その他は「体験活動や交流活動に興味があった」だった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他の家族との交流の時間を少なくしていたが、そのことで「参加した人達（子供たち）ともっと交流したい」という意見があった。

## 5 成果と課題

### 《成 果》

- ・ 牧場主の講義の後の質疑応答では、保護者からの質問が多く、アンケートでは「この時間が一番興味深かった」という回答があった。子供だけでなく、保護者にも牛乳や酪農に対する関心を高めることができた。
- ・ アウトドアクッキングの際に、2つの料理の手順を組み合わせた進行手順を提示した。そのことで効率的に作業を進めることができ、結果として発酵時間や煮込み時間など、待つだけの時間が短縮できた。

### 《課 題》

- ・ 密を避けるために、参加者数を例年の半数（前年度 32名）で開催した。先着順での応募形態をとったため、募集開始 30分で募集定員に達した。例年参加者から好評をいただいている事業なので、より多くの方に体験していただく形を模索したい。



## 令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### 「いわみん2020」掲載プログラム

#### 「誰でも安心 はじめてのボルダリング体験！」

- 1 案内人さんベクライマーズクラブ 遠藤 大介
- 2 開催日時 ①令和2年11月 1日(日)13:00～15:00  
②令和2年11月 8日(日)13:00～15:00  
③令和2年11月29日(日)13:00～15:00
- 3 開催場所 国立三瓶青少年交流の家 卓球場
- 4 参加者数 ①12名 ②12名 ③13名
- 5 内容 ・初心者を対象として、国立三瓶青少年交流の家でボルダリング体験を行う。

#### 6 参加者のアンケート結果 16人回答 (人)

	100点	90点	80点	70点	50点
満足度	15		1		

- ・以前から興味があったので、参加できてよかったです。初めてでしたがとても楽しくてまたやってみたくて思いました。
- ・前からやってみたくかった。参加させていただきありがとうございました。
- ・初めてでしたが、とても楽しくできました。下から見ているよりも難しかったです。

#### 7 成果と課題

##### 《成果》

- ・いわみんに『誰でも安心 はじめてのボルダリング体験！』を掲載して4年目になる。毎年、「ボルダリングをやってみたい。」という初心者の申込があり、ボルダリングを始めるきっかけづくりになっている。また、過去の参加者が、継続してボルダリングを体験しに来ている。
- ・対象を6歳以上としているが、キッズ用ボルダリングの整備が進んだので、同伴できた幼児も楽しむことができている。

##### 《課題》

- ・今年度は、会場の国立三瓶青少年交流の家が、安全のためのマットを購入した。危険の伴う体験なので、これからも、安全面については、様々な連携がとれるようにしていきたい。



## 令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

### 「いわみん2020」掲載プログラム

#### 「かまどでごはん炊き」

1 案内人 合同会社家の女たち

2 開催日時

①令和2年11月14日(土) 10:00～15:00

②令和2年11月21日(土) 10:00～15:00 中止

3 開催場所 重要文化財 熊谷家住宅

4 参加者数 子供2人 大人4人 計6人

5 内容

- ・石見銀山の豪商熊谷家住宅のかまどを使って、おいしいご飯を炊く。
- ・ナタでまき割り、そのまきを使って、かまどで火を焚き、ご飯とみそ汁を作る。

6 活動の様子

3グループ6人の参加者が1つの家族のように、お昼ご飯を作ります。畑から大根を抜き、まきを割り、原木からなめこを採ってきます。かまどの火を調節しながら、ごはんを炊き、みそ汁を作ります。大根の葉は浅漬けにして、かまどで使い終わった熾火(おきび)を七輪に移し、魚を焼きます。

昔ながらの作業は、手間はかかりますが、無駄がありません。少ない薪で効率よく火を起こします。畑の肥料にするために処分する生ごみは、ほんのわずかです。しかも、おいしいご飯ができてきました。参加者は、便利な世の中で失われた貴重な学びを、このプログラムで思い起こすことができました。「いつもは、こんなに食べないのに。」自然と食が進み、子供も大人も、おなか一杯ご飯をいただきました。

7 成果と課題

<成果>・参加者は、昔の暮らしを思い浮かべながら、薪割り、米とぎ、火起こしなどの作業に熱心に興味をもって取り組んでいた。初めは、消極的だった子供が、どんどん積極的に活動できるようになった。

<課題>・2回目は、参加者が集まらず中止となった。充実した体験内容なので、多くの方に興味をもってもらうための工夫が必要である。



## 地域連携プログラムについて

三瓶地域協育ネットワークでは、集団宿泊活動を実施する学校が、充実した体験活動ができるように様々なプログラムを準備してきた。その中で、地域との連携を図ることで、利用する学校に、三瓶及び大田市の魅力を感じてもらえるよう、三瓶地域協育ネットワーク事業所、各団体等と連携して平成27(2015)年度から地域連携プログラムを導入している。

地域連携プログラムは、温かい地域と恵まれた自然環境の中で、「本物」に触れることができ、豊かな心を育てていく上で大変有効である。また、どのプログラムも教科等との関連をもたせ、学習指導要領に準拠した体験活動にしている。集団宿泊活動の中に地域連携プログラムを取り入れることで、教科での学びを深めるとともに、生きた学びを実体験することになる。

### 1. 令和2年度の実施実績

新型コロナウイルスの影響によるキャンセルや期間短縮で、地域連携プログラムを実施する団体が減少した。また、諸事情による受け入れの中止や、内容の見直しを図る必要のプログラムがある。現在、令和3年度に向けて、新たな連携先や見直し等の修正を行っている。一方、修学旅行先を県内に変更した学校が、石見銀山に注目し、石見銀山プログラムの実施につながった。

実施プログラム		実施団体	体験人数
牧場見学		4団体	47人
川魚の養殖		0団体	0人
未来の森を作ってみよう		0団体	0人
石見銀山プログラム		8団体	97人
電子部品製造工場の見学		0団体	0人
カヌー体験		1団体	5人
晩市(夕方のせり見学)		0団体	0人
博物館見学	自然館見学	20団体	565人
	天体観察	17団体	314人
実施回数		50団体	1028人



### 2. 地域連携プログラム

#### ①JFしまね・大田市和江漁港（晩市：夕方のせり見学）

【第5学年・社会科「私たちの生活と食料生産」】

三瓶山に源を発する静間川の河口東側に平成25年に4つの魚市場が統合されて、現在の和江漁港が完成した。最新の設備が整えられた和江漁港で、全国でも珍しい晩市（夕方のせり）の様子を見学することができる。

※晩市(夕方のせり)は、令和元年度で終了し、令和2年度から朝にせりが行われている。

#### ②やましろ屋（川魚の養殖）

【第5学年・理科「動物の誕生」】【第5学年・社会科「私たちの生活と食料生産」】

三瓶山の豊富で澄み切った湧き水を利用して、数万匹のやまめ・いわなの養殖を行っている。大小いろいろな池があり、養殖の様子を間近で見学することができる。その場で炭火塩焼きにして食べたり、釣りや掴み取りをしたりできる。

※令和元年は、地震の影響で中止 令和2年は、水不足のため中止

#### ③福間牧場（牧場見学：乳牛）



【第5学年・社会科「私たちの生活と食料生産」】

大自然三瓶山のふもとで飼育されている乳牛に、えさやり体験や乳しぼり体験を通して、直接触れ合うことができる。また、生産者から牛乳を出荷するための様々な工夫や努力を聞くことができる。

④出雲村田製作所イワミ工場（電子部品製造工場の見学）

【第5学年・社会科「これからの工業生産とわたしたち」】

【第6学年・理科「電気と私たちの暮らし」】

出雲村田製作所イワミ工場が生産しているコンデンサをはじめとする電子部品は、携帯電話、パソコン&周辺機器、テレビ&家電製品等、様々な電子機器に使用されている。世界的シェアを誇る村田製作所のものづくりの現場を間近に見ることができる。また、村田製作所で生産されている電子部品を活用した、科学実験の体験や、村田製作所で製作されたロボットの実演を見学できる。

⑤五十猛町（神話めぐり）

【第6学年・社会科「日本の歴史～縄文のむらから古墳のくにへ～」】

スサノオノミコトとその息子イソタケルノミコト上陸の地と伝えられる町、五十猛町を巡る。五十猛歴史研究会のガイドで、絶景ポイントを見学し、神話への関心を高めることができる。

⑥遊々の森（未来の森を作ってみよう）

【第5学年・社会科「国土の環境を守る」】

自然豊かな三瓶の森で、グリーンシャワーを浴びながら未来の森を作り、「環境」について考える。三瓶周辺にある「遊々の森(国有林)」で、森林管理署森林官から“森の不思議”や“森の今”のお話を聞く。間伐した木材を使って、コースターやイスを作ることもできる。

⑦石見銀山（銀山プログラム）

【第3学年 社会科「古い道具と昔の暮らし」】【第5学年 家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」】

【第6学年 社会科「江戸幕府と政治の安定」】

世界遺産「石見銀山」での活動プログラム。国の重要文化財に指定されている熊谷家住宅（約200年前に建築された建物）において、かまどを使ってご飯を炊いたり、七輪を用いて魚を焼いたりといった昔のくらしの生活体験ができる。また、豊かな自然、歴史ある街並みを眺めたり、龍源寺間歩、石見銀山資料館、世界遺産センター等の見学・体験で、銀の採掘の歴史を探ったりできる。

⑧カヌーの里おおち（カヌー体験）

【体育 「水辺活動～カヌーをしよう～」】

美郷町の「カヌーの里おおち」では、カヌーの体験ができる。江の川でのカヌーを体験しながら景色を楽しみ、自然と一体になれる。また、きれいな水で泳いだり、川魚を観察したりもできる。

⑨島根県立三瓶自然館「サヒメル」

【第6学年・理科「土地のつくりと変化～火山の噴火によってできた地形～」】

※島根県立三瓶自然館「サヒメル」・三瓶青少年交流の家と連携した学習指導案あり

三瓶青少年交流の家に隣接する県立博物館で、生物・地質・天体等の自然に関する常設展示や企画展示の見学をする。ビジュアルドームでの大型ドーム映像・プラネタリウムの視聴や、学芸員による天体・自然観察会等の学習利用を通じて、自然への興味・関心を高めたり、理科の学びを深めたりすることができる。



「金曜からおとまり☆さんべたんけん in ふゆ」

1 趣 旨

- ・家族での宿泊体験を通して、家族の絆を深めることや「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- ・たくさんのことを吸収する多感な幼児期に自然体験をすることで、自然に興味を持ってもらう。

2 事業の概要

- (1) 期 日 令和3年1月29日(金)～1月30日(土) <1泊2日>  
 (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家  
 (3) 協 力 島根県立三瓶自然館サヒメル  
 (4) 対 象 幼児とその保護者  
 (5) 参加者 23名(7家族) 申込人数10家族25名 ※募集30名  
 (6) 日程・研修内容



		16:30	17:00	17:30	19:00	20:00	21:00
1日目 (金)			受 付	は じ ま り の 会	夕 食 ・ 入 浴	「家族でほっこり 絵本の読み聞かせ」 冬の世界へご案内します。 どんな絵本が出てくるかな。 (絵本専門士: 鎌田 由美 氏)	就 寝

	6:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:30	15:00	15:30
2日目 (土)	起 清 朝 床 掃 食	退 所 点 検	「冬のさんべたんけん」 かんじきを履いて、 動物の足跡を探します。 なんの動物の足跡が 見つかるかな?  島根県立三瓶自然館サヒメル 学芸員: 安藤 誠也	昼 食	「冬のゆきだるま園へようこそ」 オリジナル雪だるまを作ります。 家族と一緒にすてきな雪だるまをつくろう!		解 散	

3 事業の特色

(1) 事業の特色

「いわみん」に3つの宿泊プログラムを提供したところ、「申し込み開始直後に満席となり、残念だった。」という声が多数あった。そこで、より多くの方に体験活動を普及したいという思いから、試行的に幼児のいる家族を対象にした平日の宿泊イベントを企画することにした。幼児対象事業のため、特に「自然」と「絵本」に興味を持ってもらうことをねらいとした。

(2) 運営のポイント

保護者の勤務時間を考慮し、夕方からの入所時間を設定した。しかし、冬の暗い雪道の運転に不安を持つ家族がいることを想定し、昼からの入所も可能にし、早く来る家族向けに「雪灯ろう作り」と「カプラ」の活動を準備した。絵本の読み聞かせでは、国立青少年教育振興機構が育成している「絵本専門士」を講師に招き、冬をテーマにした絵本の読み聞かせと、ブックトークを行った。ポイントとしては、家族がおすすめの絵本を一冊ずつ持参し、紹介することで、帰宅後に他家族が持参した本を読みたいと思わせることをねらった。絵本専門士からは、絵本を読み聞かせることが親にも子供にもリラックス効果があること、親子で読むことで親子相互の愛着形成が育まれることに言及することで、親子が今後もより絵本への関心を持ち続けることを意識した。また、対象を幼児

に特化した事業を企画したため、オリエンテーション（施設説明）は、イラストを多く取り入れ、基本的な生活習慣（早寝早起き朝ごはん等）を意識できるよう工夫した。

また、2日目のプログラムでは、島根県立三瓶自然館サヒメルと連携したことで、より専門的な内容を踏まえた説明を行った。幼児向けに、実際の足跡と比較できる「動物の足跡カード」を開発し、幼児の興味関心を高めることをねらった。

### （3）広報のポイント

島根県立図書館を通じて、島根県内の図書館へチラシ配布を行った。各市町村の子育て支援課を通じて、各保育園等へのチラシ配布を行った。保育園等は園への保護者の送り迎えがあるため、玄関先へ掲示できるA3ポスターを併せて配布した。

報道機関への広報は、事業の1か月前と1週間前の2回行った結果、新聞社1社から取材依頼があった。

## 4 参加者へのアンケート結果

### （1）アンケートの集計

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	71.4	28.6	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	85.7	14.3	0	0

### （2）参加者の声

- ・子供たちの自立心が芽生える良い機会だった。
- ・帰宅後の子供の体力を考えると金・土イベントは良かった。
- ・金曜開催はありがたかったです。珍しい雪に触れ、我が子はとても気分が高揚し、体力を使っているため、日曜日に休息がとれることは親子共々よかったです。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・試行的に行った平日宿泊イベントであったが、大半の家族から好評いただいております、需要があることが分かった。また、主催者側も他団体の動きを気にすることなく、時間や場所の調整がしやすかった。今後の事業計画の参考にしたい。
- ・島根県立三瓶自然館サヒメルの協力の下、「動物の足跡カード」を作成したことで、今後、雪用ハイキングのプログラムに活用できるものが開発できた。
- ・島根県立図書館の紹介により島根県在住の絵本専門士と初めて連携することができた。今後も読書活動の普及のために連携を強化していきたい。

### 《課題》

- ・夕方の入所にしたことで、夕方から夜にかけての時間が慌ただしかったとの意見があった。幼児は就寝時間が早いため、夜の活動をもう少しゆったりしたものにはできないか検討したい。



令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験の風をおこそう推進月間」事業  
三瓶の魅力を体験する「今年はさんべの応援に来てくだ祭」

1 趣 旨

- ・様々な体験活動プログラムを通して、三瓶地域の良さを知り、自然や体験活動への興味、関心をもってもらおう。
- ・家族で一緒に活動する楽しさを味わってもらおう。



2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年10月10日(土)・11日(日)<日帰り>  
 (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家  
 (3) 協 力 坂本農園・さんベクライマーズクラブ  
 (4) 対 象 島根県内の2人以上の家族・グループ  
 (5) 参加者 10日(土)88名 11日(日)129名 計217名  
 (6) 日程・内容

【体験活動①】「秋の自然を感じよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	15:00
10/10(土) 10/11(日)	受付	三瓶山登山(名号登山口～女三瓶山～室の内池～孫三瓶山～女夫松登山口) ※食堂でおにぎり弁当(2個入)415円を注文します。(キャンセル不可) ※下山後、女夫松登山口から交流の家までの送迎バスを出します。 ※荒天時は木の葉のスタンプバックをつくります。その後は、温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル・さんべ縄文の森ミュージアム見学 等をお楽しみください。	

【体験活動②】「秋の味覚を発見しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	坂本農園 さつまいも掘り	昼食 交流の家	焼き芋づくり&自然観察 ※荒天時には、創作活動等内容の変更がありますが、焼き芋はつくります。	

【体験活動③】「秋はニュースポーツを満喫しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)ボルダリング (2)カローリング・ディスゲッター (キッズ用ボルダリングもあり)	昼食 交流の家	(1)カローリング・ディスゲッター (2)ボルダリング (キッズ用ボルダリングもあり)	

※午前・午後で活動を入れ替える。

【体験活動④】「秋はゆったりと自然を堪能しよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング (2)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円)	昼食 交流の家	(1)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円) (2)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング	

※午前・午後で活動を入れ替える。



### 3 事業の特色

#### (1) 事業の特色

例年、三瓶山周辺地域の施設と共同で開催している「さんべ祭」が中止となったため、国立三瓶青少年交流の家を会場に日帰りで実施できる体験活動を提供することにした。登山、さつま芋掘り、ボルダリング、オリエンテーリング、サイクリング等の自然の中で季節を感じたり、しっかり体を動かしたりする体験プログラムを集めた。

#### (2) 運営のポイント

魅力ある体験プログラムの提供と新型コロナウイルス感染症への対策の2つの課題を解決することが事業実施の大きなハードルとなった。様々なケースを考えて協議した結果、4つの体験活動を実施することに決定した。眼前にそびえる三瓶山への登山、坂本農園の協力による芋ほりと焼き芋、さんべクライマーズクラブの協力でロープを使うフリークライミングを含めた様々なスポーツ体験、自然の中で活動するオリエンテーリングとサイクリングを用意することができた。また、天候に配慮した準備をすることで、荒天となった事業1日目は、登山希望者へのボルダリング体験、焼き板づくりや室内オリエンテーリングを提供することができた。

### 4 参加者へのアンケート結果

#### (1) アンケートの集計 58家族回答(家族)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	50	8	0	0
プログラム	49	9	0	0
運営	50	8	0	0
職員の対応	56	2	0	0

#### (2) 参加者の声

- ・親子でとても楽しい時間を過ごすことができました。子供ものびのびと楽しんでいました。自分達だけですると子供が途中で飽きてしまうのですが、スタートから最後まで存分に楽しんだようです。
- ・ボルダリングは、ずっと興味があったのですが、初めて体験させてもらい、とても面白かったです。親子で一緒にたくさん体験でき、良い1日になりました。

### 5 成果と課題

#### 《成果》

- ・コロナ禍で様々なイベントが中止される中、参加者は、イベントを楽しみに参加し、充実した一日を過ごすことができた。芋ほりと焼き芋づくりは、そのまま秋を感じることができた。フリークライミングは、初めての試みであったが、大人も子供も積極的にチャレンジしていた。雨の降る時間もあつたものの、活動内容を組み替え実施することで満足してもらうことができた。

#### 《課題》

- ・感染症予防で参加人数を制御し、参加者の取りまとめや雨天時のプログラム変更の調整を行うことに負担がかかった。様々な条件の中で、受け入れができたことを、今後に活かしていきたい。



## 8. 令和2年度「三瓶地域協育ネットワーク」事業参加・協力団体の皆様

(順不同)

大田市教育委員会社会教育課	大田市観光協会
三瓶まちづくり委員会	福間牧場
五十猛歴史研究会	美郷町観光協会
子ご美の里	一般社団法人 イワミノチカラ
大田市山村留学センター	島根県立三瓶自然館サヒメル
さんべ縄文の森ミュージアム	三瓶北の原キャンプ場
三瓶こもれびの広場木工館	SANBE BURGER
石見ワイナリー	東の原観光リフト
(株) 出雲村田製作所イワミ工場	つりぼり やましる屋
さんべそば推進会議	カヌーの里おおち
ゴールデンユートピアおおち	地球堂模型
島根県立少年自然の家	島根県立青少年の家
島根森林管理署	沢谷河童レンジャー
JF しまね・和江漁港	熊谷家住宅
桃太郎農園	琴引フォレストパークスキー場
石見銀山資料館	石見銀山ガイドの会
NHK 松江放送局	石見銀山テレビ放送
出雲ケーブルビジョン	島根日日新聞
山陰中央新報社	さんベクライマーズクラブ
さんべウォーク実行委員会	島根県オリエンテーリング協会
島根県立大田高等学校茶道部	国民宿舎 さんべ荘
さんべヘルスツーリズム協議会	(株) necco
多根神楽団	大田市立中央公民館
大田市立東部公民館	大田市立温泉津公民館
池田まちづくりセンター	志学まちづくりセンター
北三瓶まちづくりセンター	大田市立北三瓶小・中学校
大田市立志学小・中学校	大田市立池田小学校
イオン松江ショッピングセンター	イオンモール出雲
おおだ未来づくり会議	ナウマン企画
国立三瓶青少年交流の家	